



さめきつ子 キャンパス

低学年では、自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、活動への興味・関心を高めながら意欲と自信を持って活動できるようにすることが大切です。

1ねん くみ ばん ()

1 できること いっぱい みつけよう！ かいた日 月 日

児童に振り返らせ、色を塗らせませす。教師がアドバイスしながら進めましょう。

★ いまのわたしは…

○ げん気よく あいさ

○ ともだちと なかよ

○ かかりの しごとを すずんで しています。

○ チャイムの あいすなど じかんを まもっています。

をぬりましょう！
(できた) (もうすこし)



項目の内容については、各学校の教育目標や重点項目に合わせて、変更することができます。学年の重点とする内容を項目とするのも一つの方法です。

★ がんばっていることは…

.....
.....
.....
.....

★ とくいな お手つだいは…

.....
.....
.....
.....

自分の好きなことや得意なことなどを振り返らせ、活動への興味・関心を高めるとともに意欲と自信をもつことにつながるようにします。記入させる項目は各学校で変更することができます。

★ いちばん すきなことは…

.....
.....
.....
.....

★ 大じなものは…

.....
.....
.....
.....

2 ことし一年で どんなことが できるように なったかな。

自分のできるようになったことを具体的に書かせることで、自己肯定感の育成につながります。友だちからの言葉を聞かせる工夫などもできます。

教科の授業、学級活動、学校行事などでの活動を思い出させたり、家庭での手伝いなどを思い出させたりすることもいいでしょう。

3 あなたは クラスの どんな かかりを しましたか。

「働くこと」に対する興味をもたせるきっかけとして、学級で自分が行った係の仕事について見つめさせるものです。

係の仕事をしてみてうれしかったことなどについて書かせてみるのもよいでしょう。

1日の学校生活や1年間の行事なども振り返らせながら、考えさせると記入しやすいと思われます。

4 あなたの しょうらいの ゆめを おしえて！

自分の夢について書かせるところです。「〇〇になりたい」など、正直な気持ちを書かせましょう。

具体的な職業を書けなくてもかまいません。子どもたちが書いた内容から、なぜそう書いたのかなどを問ひかけ、学校や家庭での話につなげましょう。

() から

子どもが書いたシートを持ち帰らせ、保護者にも励ましの言葉を書いてもらいます。教師が子どもの肯定的な面をとらえて、称賛や励ましの言葉を記入してもよいでしょう。懇談会などでも活用できます。

さめきっ子 キャリア・パスポート



2年 組 番 ()

低学年では、自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、活動への興味・関心を高めながら意欲と自信をもって活動できるようにすることが大切です。

1 できること いっぱい 見てほしい

児童に振り返らせ、色を塗らせませす。教師がアドバイスしながら進めましよう。

★ いまのわたしは…

○ 元気よく あいさつを

○ 友だちと なかよく し

○ かかりの しごとを す

○ チャイムの あい図など 時間を まもっています。

いろをぬりましよう!
(できた) (もうすこし)



項目の内容については、各学校の教育目標や重点項目に合わせて、変更することができます。学年の重点とする内容を項目とするのも一つの方法です。

★ がんばっていることは…

.....
.....
.....
.....

★ とくいな お手つだいは…

.....
.....
.....
.....

自分の好きなことや得意なことなどを振り返らせ、活動への興味・関心を高めるとともに意欲と自信をもつことにつながるようにします。記入させる項目は各学校で変更することができます。

★ ーばん すきなことは…

.....
.....
.....
.....

★ 大じなものは…

.....
.....
.....
.....

2 あなたの いいところや とくいなことを おしえて！

自分のいいところを書かせることで、自己肯定感の育成につながります。教師からの助言や、友だちからの言葉を聞かせる工夫などもできます。道徳や学級活動で行った学習活動を思い出させることも有効です。

3 まちたんけんでは どんなしごとを 見つけましたか。

「働くこと」に対する興味をもたせるねらいがあります。身近なところで働く人を思い出させましょう。生活科の学習を振り返らせることも有効です。1年生で書いた係の仕事とつなげながら、考えさせてみるのもよいでしょう。

4 あなたの しょうらいのゆめを おしえて！

自分の夢について書かせるところです。「〇〇になりたい」など、正直な気持ちを書かせましょう。具体的な職業を書けなくてもかまいません。子どもたちが書いた内容から、なぜそう書いたのかなどを問いかけ、学校や家庭での話につなげましょう。

() から

子どもが書いたシートを持ち帰らせ、保護者にも励ましの言葉を書いてもらいます。教師が子どもの肯定的な面をとらえて、称賛や励ましの言葉を記入してもよいでしょう。懇談会などでも活用できます。

さめきっ子 キャリア・パスポート



3年 組 番 ()

中学年では、友だちのよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割が自覚できるようにすることが大切です。

1 自分と 友だちと みんないっしょに！

(1) 自分をふり返ってみましょう。

① 1・2年生の時とくらべると、どんなことができるようになりましたか。

.....
.....
.....

低学年のころを思い出させ、3年生としての生活を振り返って、自分ができるようになったことを具体的に書かせましょう。1年生や2年生の時のノートを参考にさせるのもよいでしょう。

② 今のわたしは…

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
• だれにでも元気よくあいさつし				
• チャイムのあい図など時間をまもっています。				
• 係の仕事を進んでしています。				
• 友だちのよいところが見つかります。				
• 友だちと協力して学習や活動に取り組んでいます。				
• 友だちをはげましたり、友だちにはげまされたりしています。				
• 自分で決めたことはさい後までやり通します。				
• 家で自分の決まった手つだいをしています。				

自分の姿を具体的に見つめさせる部分です。あいさつや時間を守るなど、基本的な項目を設定しています。学校で独自の項目に変更して使うこともできます。

(2) さい近、一番うれしかったことは どのようなことですか。

.....
.....
.....

友だちや周囲の人との関わりの中で、人間関係形成能力が培われます。行事や活動を思い出させ、うれしかった家族や友だちの言葉や行動などを書かせましょう。なぜうれしかったのかについて考えさせるのもよいでしょう。

2 あなたのよいところやがんばっていることは何ですか。

自分のいいところ、頑張っているところを書かせることで、自己肯定感の育成につながります。教師からの助言や、友だちからの言葉を聞かせる工夫などもできます。子どもの記述から、教師が見えていなかった部分に気付くこともあります。道徳や学級活動で行った学習活動を思い出させることも有効です。

3 あなたの住んでいる町にはどんな仕事をしている人がいますか。

「働くこと」に対する興味をもたせるねらいがあります。身近な地域で働く人について考えさせます。社会科での学習や学校行事なども振り返らせながら、考えてみると記入しやすいと思われます。

4 あなたのしょう来のゆめは何ですか。

自分の夢について書かせるところです。低学年のころと比べさせたり、上記の地域の人たちの仕事なども関連付けて考えさせたりしましょう。具体的な職業を書けなくてもかまいません。子どもたちが書いた内容から、なぜそう書いたのかなどを問いかけ、学校や家庭での話につなげましょう。

()から

子どもが書いたシートを持ち帰らせ、保護者にも励ましの言葉を書いてもらいます。教師が子どもの肯定的な面をとらえて、称賛や励ましの言葉を記入してもよいでしょう。懇談会などでも活用できます。

さめきっ子 キャリア・パスポート



4年 組 番 ()

中学年では、友だちのよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割が自覚できるようにすることが大切です。

1 自分と 友だちと みんないっしょに！

(1) 自分をふり返ってみましょう。

① 3年生の時とくらべると、どんなところが変わりましたか。

3年生のころを思い出させ、4年生としての生活を振り返って、自分が気が付いたことや思ったことなどを書かせましょう。行事や日々の活動を思い出させるとよいでしょう。

② 今のわたしは…

自分の姿を具体的に見つめさせる部分です。あいさつや時間を守るなど、基本的な項目を設定しています。学校で独自の項目に変更して使うこともできます。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
・だれにでも元気よくあいさつし				
・チャイムのあい図など時間をまもっています。				
・係の仕事を進んでしています。				
・友だちのよいところが見つかります。				
・友だちと協力して学習や活動に取り組んでいます。				
・友だちをはげましたり、友だちにはげまされたりしています。				
・自分で決めたことはさい後までやり通します。				
・家で自分の決まった手つだいをしています。				

(2) 最近、一番うれしかったことは どんなことですか。

友だちとの関わりの中で、人間関係形成能力が培われます。行事や活動を思い出させ、うれしかったり、助けられたりした友だちの言葉や行動などを書かせましょう。なぜうれしかったのかについて考えさせるのもよいでしょう。

2 あなたのよいところやがんばっていることは何ですか。

自分のいいところ、頑張っているところを書かせることで、自己肯定感の育成につながります。教師からの助言や、友だちからの言葉を聞かせる工夫などでもできます。子どもの記述から、教師が見えていなかった部分に気付くこともあります。道徳や学級活動で行った活動を思い出させることも有効です。

3 仕事（働くこと）について、身近な人に聞いてみましょう。

聞いた人（ ）
仕事について（仕事の楽しさやたいへんさなど）

「働くこと」に対する興味をもたせるねらいがあります。低学年では、学校で働く人について、中学年では働く家族や地域で働く人について考えさせます。もっとも身近な存在として、保護者の方などに働くことについて聞き取りをさせる活動などが考えられます。

4 あなたのしょう来のゆめは何ですか。

自分の夢について書かせるところです。低学年のころと比べさせたり、上記の家族や地域の人たちの仕事なども関連付けて考えさせたりしましょう。これまでの自分の夢についても振り返らせながら、書かせるとよいでしょう。具体的な職業のみに限定する必要はありませんが、なぜそう書いたのかなどを問ひかけ、学校や家庭での話につなげましょう。

()から

子どもが書いたシートを持ち帰らせ、保護者にも励ましの言葉を書いてもらいます。教師が子どもの肯定的な面をとらえて、称賛や励ましの言葉を記入してもよいでしょう。懇談会などでも活用できます。

さめきっ子 キャリア・パスポート



5年 組 番 ()

高学年では、苦手なことやはじめて挑戦することに失敗を恐れず取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにすることが大切です。

1 ちょう戦する やりぬく 夢・希望を広げる！

(1) 自分をふり返ってみましょう。

① 4年生の時と比べると、どんな所が変わりましたか。

.....
.....
.....

高学年となった自分の生活を振り返って、自分が気がつけたことや思ったことなどを書かせましょう。行事や日々の活動での活動や感じたことを思い出させるとよいでしょう。感想文などをつづったファイルを振り返らせることも有効です。

② 今のわたしは…

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
・だれにでも元気よくあいさつしている。				
・時間を守って行動しています。				
・係の仕事を責任をもってしています。				
・他の人の立場になって考えることができます。				
・話し合い活動などに積極的に取り組んでいます。				
・下級生にもやさしく接することができます。				
・自分で決めたことは最後までやり通します。				
・家で自分の決まった手伝いをしています。				

自分の姿を具体的に見つめさせる部分です。あいさつや時間を守るなど、基本的な項目を設定しています。学校で独自の項目に変更して使うこともできます。

相手の立場を考えた言動、集団生活の向上に対する意識など、各学校の実態に応じて高学年での発達課題に応じた項目を設定しましょう。

(2) 一番心に残っている活動や行事は何ですか。

○そこでの自分の仕事や役割 ()
○心に残っていること

.....
.....

高学年として自分の果たした役割を考えさせながら、心に残っていることを振り返らせます。成功体験だけでなく、失敗体験や後悔していることでもかまいません。教師が、そこからの学びが大切であるという価値付けをする意識が大切です。

2 あなたのよいところやがんばっていることは何ですか。

自分のいいところ、頑張っているところを書かせることで、自己肯定感の育成につながります。教師からの助言や、友だちからの言葉を聞かせる工夫などもできます。子どもの記述から、教師が見えていなかった部分に気付くこともあります。道徳や学級活動で行った学習活動を思い出させることも有効です。

3 5年生では仕事（職業）についてどんなことを学びましたか。

5年生での社会科や総合的な時間の学習、工場見学や職場訪問等の学校行事などで体験したことなどを思い出させながら、自分と働くこととのつながりについて考えさせてみましょう。小学校高学年からは、少しずつ将来の職業についても考えさせ始めていくことも大切です。

4 あなたのしょう来のゆめは何ですか。

高学年では、それぞれの夢も具体的になっている者、そうでない者の差が大きいことが考えられます。具体的でないことが問題ではありませんが、描いた夢に向かって「こんなことをしていきたい」という取組を考えられるよう、アドバイスすることが大切です。

()から

子どもが書いたシートを持ち帰らせ、保護者にも励ましの言葉を書いてもらいます。教師が子どもの肯定的な面をとらえて、称賛や励ましの言葉を記入してもよいでしょう。懇談会などでも活用できます。

さめきっ子 キャリア・パスポート



6年 組 番 ()

高学年では、苦手なことやはじめて挑戦することに失敗を恐れず取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにすることが大切です。

1 ちょう戦する やりぬく 夢・希望を広げる！

(1) 自分をふり返ってみましょう。

① 5年生の時と比べると、どんな所が変わりましたか。

.....
.....
.....

最上級生としての生活を振り返って、自分が気がつけたことや思ったことなどを書かせましょう。行事や日々の活動での活動や感じたことを思い出させるとよいでしょう。感想文などをつづったファイルを振り返らせることも有効です。

② 今のわたしは…

自分の姿を具体的に振り返らせる部分です。高学年での発達段階を踏まえて、実態に応じて項目を変更しましょう。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
・だれにでも元気よくあいさつしています。				
・時間を守って行動しています。				
・係の仕事を責任をもってしています。				
・他の人の立場になって考えることができます。				
・話し合い活動などに積極的に取り組んでいます。				
・下級生にもやさしく接することができます。				
・自分で決めたことは最後までやり通します。				
・家で自分の決まった手伝いをしています。				

相手の立場を考えた言動、集団生活の向上に対する意識など、各学校の字体に応じて高学年での発達課題に応じた項目を設定しましょう。

(2) 一番心に残っている活動や行事は何ですか。

○そこでの自分の仕事や役割 ()
○心に残っている活動や行事 ()

最上級生として自分の果たした役割を考えさせながら、心に残っていることを振り返らせます。成功体験だけでなく、失敗体験や後悔していることでもかまいません。教師が、そこからの学びが大切であるという価値付けをする意識が大切です。

2 あなたのよいところやがんばっていることは何ですか。

自分のいいところ、頑張っているところを書かせることで、自己肯定感の育成につながります。教師からの助言や、友だちからの言葉を聞かせる工夫などでもできます。子どもの記述から教師が見えていなかった子どものよさに気付くこともあります。道徳や学級活動で行った活動を思い出させることも有効です。

3 中学生になってがんばりたいことは何ですか。

中学校に進学して、やってみたいことについて積極的に書かせましょう。中学校体験入学などの行事に参加したことや兄弟姉妹からの話なども思い出させ、記入させましょう。

4 あなたの将来の夢は何ですか。

○将来の夢は…

高学年では、それぞれの夢も具体的になっている者、そうでない者の差が大きいことが考えられます。具体的でないことが問題ではありませんが、描いた夢に向かって「そのために、今の自分はこんなことを努力していきたい」という取り組みを考えられるよう、アドバイスすることが大切です。

○そのためにがんばっている（がんばろうと思っている）こと…

5 小学校時代の自分に一言！

小学校6年間を振り返って自分の成長について書かせましょう。各学校で作成、使用しているファイルや下学年で記入した「さぬきっ子キャリア・パスポート」などを振り返りながら書かせるとよいでしょう。

()から

子どもが書いたシートを持ち帰らせ、保護者にも励ましの言葉を書いてもらいます。教師が子どもの肯定的な面をとらえて、称賛や励ましの言葉を記入してもよいでしょう。懇談会などでも活用できます。